

(イ) 課題番号2

課題分野：Ⅱ	課題名：「柿産地の耕作放棄園解消対策」	
対象： ①天理市菅生町農村環境保全向上活動組織 ②天理市果樹園芸組合	計画期間：H26～28 農林振興事務所名：北部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
①耕作放棄地の解消 ②防除機導入による作業の省力化	①関係機関を含めた打ち合わせ、オーナー制の柿園の指導、柿葉生産技術指導、柿葉生産の優良事例視察研修を実施した。 ②歩行型SS利用園地の進入路等を点検し、利用啓発を実施した。	①柿の木オーナー園は、募集口数を上回る応募があり、定着が図られている。柿葉生産については、今年3園地12aの既存柿園を柿葉生産園に転換した。 ②利用啓発の結果、歩行型SSがH27年に3台導入され、7名、約4haで利用。

総合評価（コメント）
<p>A：4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■防除機導入に際し発生した、園地への進入路確保の問題に対し、園地整備事業への着手に展開した点を高く評価。引き続き地域のランドデザインのモデル事例となるよう進めて欲しい。 ■課題、取り組みとも評価。今後は、地域の自主的なものにしていく支援が必要。 ■概ね、的確であると評価。 ■耕作地解消の対策は急務であり、初年度の成果が上がっており、成果の分析もできている点を評価。来年度にいかしてもらいたい。 <p>B：2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■早急な果樹園産地計画の策定、事業活用による園内道の整備が必要。柿の新規就農者確保への取り組みを期待する。 ■果樹産地構造改善計画策定の産地協議会から、地域農業の担い手ができることを期待する。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■柿の木オーナー園の自主運営に向けた支援、柿葉生産の振興およびSSの利用啓発を継続して行うとともに、果樹産地構造改善計画策定の支援を通して、耕作放棄園の解消と担い手の確保につなげていく。